

平成28年度 第5. 6学年 家庭科 授業改善推進プラン

教科	1学期に実施した工夫と課題	課題を受けた今後の改善策
5・6年	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・裁縫・・・自分一人で取り組めない児童が少なからずいる。自ら理解し、考え、課題に向かえるようにしていきたい。 ・調理・・・役割分担や意見の調整がスムーズにできるようにし、調理実習の活動内容を豊かで効果的なものにしたい。 <p>【工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆指導目標の明確化と学習の見通し ・板書の工夫・・・一人一人が2時間の見通しをもって活動できるように、活動の流れとポイントが分かるようにしている。 ☆補助教材の活用 ・掲示物の工夫・・・見ることで学習内容を理解できるようにしている。 <ul style="list-style-type: none"> ①つまずきやすい部分を拡大して、黒板等に掲示している。 ②動画やICT 機器を使っている。 ☆相互の学び合いと手立て ・その日の達成目標をはっきりさせることで、グループの中で、助け合えるようにしている。 ・各自でふり返りができるように、ノートやワークシートの内容を工夫している。 	<p>(裁縫)</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆補助教材の活用 ・自力解決ができるように、掲示物の工夫をする。 ・ミシンの扱いで分かりにくい部分は、拡大して掲示する。 ・繰り返しやり方を確認できるように、動画も利用する。 <p>☆指導目標の明確化と学習の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が質問に来る時間の他に、教師が各班を回る時間をつくり、学習や作業の見通しについて個別の学習指導を行う。 ・作品の作成に当たっては、事前に目的意識をはっきりともたせるようにする。 <p>(調理実習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆教材の開発と工夫 ・役割分担で児童がやりたいと思われる活動に関しては、可能な範囲で希望を生かすことで、自主性や課題意識を高める。 ☆補助教材の活用 ・ワークシートを活用し、教材への理解を促すとともに、自立解決できるようにする。 ☆相互の学び合いと手立て ・グループの中での助け合いや教え合いを推進し、全員がかかわれる調理実習にする。
<p>今年度の成果と課題</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・裁縫・・・拡大図や作品例を掲示し、実際に見たり手に取ったりすることで、自力解決できるようになった。 ・調理実習・・・役割分担の工夫に加え一人で行う活動を取り入れたことで、達成感を今まで以上に味わえるようになった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭科が得意な児童が早く仕上がったあとの、課題の設定。 		